

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第46号 2007年3月

やどりき水源林ニュース

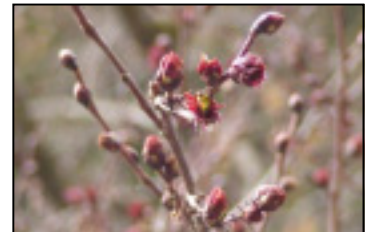
発行 社かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2
 ☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

早春のやどりき水源林

暖冬とはいえ、冬の間はやどりき水源林は、吹く風も冷たく寒々としていましたが、さすがに3月に入ると日差しも柔らかくなり、寄沢の水の流れも和んで聞こえます。フサザクラやミツマタは開花を始め、キブシやクロモジの花芽が膨らみます。春の息吹を感じる3月初旬のやどりき水源林です。



フサザクラの開花
 紅色のオシベの葯が房状に垂れ下がって美しい。



陽だまりにフデリンドウのツボミを見つけました。

「自然とともに・・・大切にしよう森林資源」をテーマに川崎市の宮崎小学校の5年生が水源林に訪れました。



宮崎小学校は森林の役割等を学ぼうと、毎年やどりき水源林を訪問しています。今年は3月2日に196名の5年生と先生方が訪れ、22名のインストラクター（22班）で案内しました。案内コースはAコースとBコースです。



子供達はみんな元気一杯で、山歩きの後には河原で遊んで「楽しかったー」と帰って行きました。

ミツマタを使って和紙作り

やどりき水源林にはミツマタの群落があり、前年の秋から白いツボミを付け、3月中旬には黄色い花で一面を覆います。

かながわ森林インストラクターの会では以前、やどりき水源林のミツマタを使い、紙すき体験を行いました。紙をすくまでに、刈り取り、皮はぎ、黒皮削り、繊維ほぐしなど準備に多くの工程が必要です。

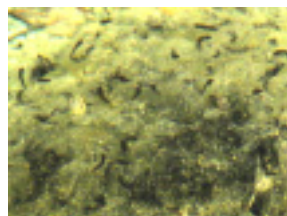


開花を始めたミツマタの群落

<p>①ミツマタの刈り取り ミツマタを刈取り、皮をはぐ (蒸すとはがし易くなります)</p>	<p>②ミツマタの断面 矢印の間が原料になる皮の部分で、 表面の黒皮と内部の白皮から成る</p>	<p>③黒皮削り 皮を煮てやわらかくし、表面の黒皮 を削り、原料となる白皮を取り出す</p>
<p>④者熟（しゃじゆく） 白皮をソーダ灰で煮て、繊維に分解 する</p>	<p>⑤水さらし 水を流しソーダを除き、チリを取る (必要に応じて漂白する)</p>	<p>⑥叩解（こうかい） 白皮をたたき、繊維をほぐして綿状 にする</p>
<p>⑦ミキサーかけ 繊維をほぐして紙料とする</p>	<p>⑧紙すき ネリ（トロロアオイ）を加え、流し すきをする</p>	<p>⑨乾燥 製品を板に貼り乾燥させる</p>

今月のトピックス

- ・3月に開花する主な樹木…川辺のフサザクラは中旬、混交林のクロモジ、アブラチャンは下旬が例年ですが、今年は暖冬でいつもより少し早まりそうです。
- ・ミソサザイのさえずりが聞こえます。
- ・ヤマアカガエルが孵化しました。



孵化したヤマアカガエル

4月の見所

- ・各種スミレが開花します。（タチツボスミレ、アカネスミレ、エイザンスミレ、ナガバノスミレサイシンなど）
- ・9月頃から咲き続けたジュウガツザクラがクライマックスを向かえます。
- ・カジカガエルが鳴き始めます。